



10.11月号



社法人 東京都宅地建物取引業協会
府中 稲城支部

十月定例役員会

と き。。。昭和四十八年十月二十二日(月)午後二時

ところ。。。稲城地区双葉寿司二番広間

出席者。。。関谷、石川、松原、眞峠、大島、室、

成沢、佐藤、野口、小沢、井黒、栗山、

染野各理事、事務局畠山氏。

欠席者。。。久保木、出口理事、山村、朝倉相談役。

審議並報告事項

(一) 街頭相談所の件

右の件については十月二十三日(火)午前九時より午後四時迄、府中駅南口駅前にて当支部役員全員の出席により催すことに決定する。尚相談所に用いる当支部専用のテントを役員全員の寄付により作成することに決つた。(但シ不足額は支部会計より充当する)

(二) 立入調査指導の件

右の件については佐藤指導部長より、全会員の指導調査の結果が報告され一部会員の中に帳簿その他不備の点が見られたが、其の後改善の動きが見られるので来る十一月の東京都よりの立入調査には支障ないものと思われるとの事。

(三) 税務相談と新税法の指導の件

右の件については税務者より未だ資料未着のため連絡があり次第講習会其の他を催すとのことで、後日改めて会員諸氏に通知する由。

(四) 特別研修会の件

業協会及保証協会主組の取引主任者を対象とした研修会には、八王子会場に八十九名、小金井会場に十二名と当支部殆んど全員の取引主任者の参加を見たことは非常に喜ばしいとのこと。尚受講証書は本年中に会員手許に御届けする予定。

(五) 不動産協同組合に属する件

右の件については最近の業界の様子からして、協業化は避けられないと思うので、一日も早くその態

勢をととのえることが必要との意見が出されたが、何分にも大きな問題なので理事会即決は無理だし、十分に審議をつくした後、結論を出そうということ
で次回に持ち越された。

(六) 支部旅行会に關する件

右の件については先日配付したパンフレットの通りなので、集計日が近くなつたので一人でも多くの参加者を希望する旨栗山厚生部長より要請あり。

(七) 稲城市商工まつりの件

来る十一月三日、四日の両日に行なわれるが、当日会場に不動産相談所を設け支部役員全員にてその相談にあたるとの事。

(八) 不動産会館建設資金の件

右の件については本年保証金の関係で業協会入会者が増加し、財源に多少ゆとりがあるので、十年年賦の予定を繰上げ一括返済にするとの事。方法については後日担当役員を連し仰知らせするとの事。

(九) 新年宴会の件

毎年恒例の新年宴会なのでこの件については、栗山厚生部長に一任する由。

(十) 新入会者の誓約書差入れの件

右の件については現在事務局にて鋭意事務進行中なりとの報告あり。

(十一) 供託金差し戻しの件

右の件については当支部は二十五番目なので、どうやら来春になる模様なり。

以上

お知らせ

当支部会員である「三ツ木産業」では此度本社ビルが完成したのを機会に去る十月二十四日(水)に、多数の来賓を迎え盛大なる披露パーティーを催し、その落成を祝つた。今後の健斗を祈りましょう。支部会員の皆様は今後共よろしくとの事です。

野尻湖探抄

畠山謙吉

別荘地造成の業者に招かれし野口氏に誘はれ

野尻湖畔に佇つ

別荘地購入ひし人等とここに来て我に閑りなき
を乏しむ

妙高の頂き近くそがれたつ地層あらはに

夕暮れ人とす

そがれたる山のひずみに滅びとふ心虚しく

融るるものあり

澄み巨る野尻湖面に写りたる木々の繁みより

夕暮れにつつ

ものなべて影を失せつつ野尻湖の空におぼろの

月かかりたり

湖を囲る山拓きゆくアーク灯の煌めきは低きより

高きに及ぶ

開発とう文化の影は鳥けもの虫のいのちを

消してゆくらし

孤火もかくやとまでふ美しさ船に曳かる

灯籠流し

炸裂音身ぬちに応ふたまゆらを色とりどりの

花火飛び散る

山こだま花火の爆音を吸ひ留めて我が夜腹へと

打ち返し来る

爆音の山を越え去る余員あり酒は心を

ゆさぶる如し

弁天島めぐり即ち天と地の思ひ新なり

謀将宇佐美



府中稲城支部主催恒例 不動産相談所開かる!!

去る十月二十三日(火)に府中駅南口駅前広場にて、
府中稲城支部全役員出席の下に不動産無料相談所が
開設された。

当日はお天気に恵まれ絶好の相談日和ではあつた
が、午前九時より午後四時迄の長時間を通じ、相談
件数は総計五件とやや低調であつた。同日同時刻に
三多摩各支部にて行なわれた訳であるが、折込みチ
ラシを配った南多摩支部が最も多くの相談者があつ
た模様なり。

終了後場所を移し反省会を開いたが

①やはりチラシを入れるべきである？

②場所を屋内にしないと相談者が他人の目を意識

して来ないのではないか？

③当日だけでなく常時気軽に相談を受ける様に

支部会員の名簿印刷するべきではないか？

等々有意義な意見が出された后日の参考にするとのこと。

稲城市産業展開かる!!

市制一周年を記念して去る十一月三日四日の両日
稲城中学校校庭を利用して開かれた本年度稲城市商
工祭は、物価高の折から野菜の即売、植木の販売、
縁日横丁等と盛沢山の出店者でにぎわい、子供向ア
トラクションも加わりお客様も押し合ひ程の大盛況
に終つた。当日当支部も昨年同様不動産無料相談所
を開催支部役員諸氏が交代でつめかけた。

相談所出席者氏名

十一月三日 山村氏、松原氏、小沢氏、芦川氏、

大島氏、榎峠氏、荒川氏、佐藤(尚)氏

十一月四日 成沢氏、出口氏、染野氏、白井氏、

十一月三、四日両日 関谷氏、吉田氏、栗原氏

佐藤(精)氏、室氏、畠山氏

以上の皆様です。御苦勞様でした。



これからの不動産業

園谷 鉄之助

此の所何か集れば協業がさげばれている。今後の不動産業界は大手業者は資本の充実に物をいわせて、何年か前に手を打つておいた土地に、近代的な造成を加えて何倍かの利益を得ている。私達弱小業者は、買つて売る。そして利益を得るといふシステムである。会員全員がそうであるとは申し上げませんが、大体五十歩百歩である。此れでは大手との競争は出来ません。此れに対抗するには、大資本家と手を結ぶか又は協業するしかないと思います。そのプランとしては、支部全体に呼びかけて見ることに。此れが一番ムズカシイ事です。人皆顔の違う如く心も皆一人一人が違ふのであります。此れを一つに調整することが第一です。次に執行部の人選ですが、此れが又ムズカシイのです。今迄の互選方法は色々ありましたが此の人選が永久にキイポイントになることで

す。幾分ワンマンはあつても今日迄の人となりを見て、充分考へる必要があると思ひます。現在の支部長が某の役職につくとか、現在の理事で協組の役員を遣ふとか、そのような小さな考へを捨てて、現会員九十数名の中から適任者を選ぶ事が良いかと存じます。そして協組発足迄に協同組合法を充分研究していただきたいと思います。其の研究によつて当府中稲城支部では、どのような方法にして不動産協同組合を設立させるかを定めて然る後に適材適所に理事を配置する。此の様にすればよいと思ひます。私達現執行部理事によつて自分達の任期中に是非此の協業を充足させたいと思ひます。尤も中には一部反対の方もある様に見受けられますが此れは止を得ません。現在の会員は百名になんなんとしていますが、此の支部会員全員の参加がのぞましいがこれは無理に参加して頂く事はないと考へます。どうか此の仕事はプランの儘で終るかも知れませんが、一応此の協業は四、五年先にはいきたく存じます。現理事の置土産として報告致します。

十一月定例役員会

とき 十一月八日 木曜日 午後一時

ところ 富士銀行府中支店会議室

出席者 関谷、石川、結城、眞峠、野口、室

栗山、井黒、安原、松原、鈴木、出口

染野各理事

佐藤―本部出張。大島―講習会

審議事項並報告事項

(一) 従業員台帳提出の件

先月末より各ブロック担当役員さんの御努力により着々整いつつありますが、未だ提出の済んでない店舗は早急に写真添付の上、事務局迄御送付下さいとの事です。

(二) 不動産会館出賃金払戻しの件

右の件につきましては出資証券提出順に、その元金壹萬円を払戻すとの事です。尚繰上げ償還のため

金利計算をすると壹百貳拾五円也の配当金額ですので、この分は記念品又は感謝状に替えさせて欲しいとの事です。

(三) 稲城地区商工まつりの件

右の件につきましては別頁参照して下さいとの報告あり。尚当日の出席者には五百円也の昼食代を支給したとの事です。

(四) 旅行中間申込の件

右の件につき栗山厚生部長より現在五〇名程の申込み状況であり尚追加が予想されるので最終的には六〇名前後になる模様なりとの事。

(五) 店頭ピラの件

店頭に物件のピラを張る場合に、委任物件が仲介物件かの表示が欠けているのが現状であるが早急に改善して欲しいとの事です。

(六) 会員証の件

此度保証協会会員証の金看板が出来たので、夫々の店舗に配付致しましたが、退会する時には必ず、

返納する事が義務付けられておりますので御留意下さいとの事です。

(九) 本部忘年会の件

右の件については各支部人数の制限がありますので当支部よりは、奥谷、松原、石川、榎峠、山村、栗山の六名が出席する由。

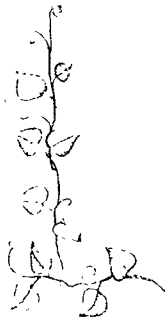
(十) 支部新年会の件

追つて詳細はお知らせ致しますが、支部恒例の新年会は来る四十九年一月十八日(金曜日)の午后中河原料亭大園で開催する予定との事です。

(出) 不動産協同組合の件

右の件については種々の問題があるので少人数による研究会を設け慎重に案を練り上げ、其の後再度検討するとの事です。

以上



!!懇親会旅行終わる!!

業協会府中稲城支部恒例の秋季懇親旅行会が去る十一月十九日二十日の両日に伊東温泉ホテル川良にて催された。当日は参加者五十四名という人数にて現地集合方式にて行なわれ、午後六時より加藤専務理事の司会に依り、

一、開会の辞 石川副支部長

一、支部長挨拶 奥谷支部長

一、祝辞 富士銀行府中支店
同栄信用金庫稲城支店

一、幹事代表 小沢企画部長

一、カンバイ 山村相談役

一、閉会の辞 松原副支部長

一、萬才三唱 朝倉相談役

以上の順序にて進行、途中より芸妓も加わり、宴会もにぎやかに進み、終了後は各自の自由行動にて夫々旅の想い出を残し、翌朝八時三十分よりの朝食後現地にて解散し無事に終了した。

見聞 考感

此の二。三ヶ月同業者仲間を訪問しても一向に儲けた話しをあまり聞かない。確かに金融が、縮つて、土地の値段が一般消費者の手の届かぬ高値になつた感で箇々にウリ・カイの引き合いはあつても、その双方がうまく出合いがつかない様子らしい。このきびしい状態は来年になつても更に続く傾向らしく、このところ中小業者いうところの協業化論議が又盛んである。確かに協業には①間接経費が安くつく。②利益は平等であるが同時にリスクも分散される。③合議制でプロジェクトが組めるE T C 種々のメリットがあることは事実であるが、又一方で、④合議制のため即戦即決でものごとが決まらない。⑤協業体をまとめるマネージメントが難かしい。⑥共通の思想がないため協業に対する十分な理解がないE T Cのデメリットもあると云う。かてて加えて若し協業体を私有する思考の持主が加わつているとすれば尚更困難になろう。とまれ!! 協業化の問題は充分過ぎる程論議されてからでもおそくはあるまい。

編集後記

- ◎いよいよ今年もあとわずか。多難の年も暮れようとしています。
- ◎思えば今年程不動産業界の受難を思わせる年は、過去になかつた様な気もする。
- ◎所謂地価の上昇、金融の引き締め等々種々の要素がからみあい商売が出来にくい。
- ◎ならば来年は良いかと思えばそうでもないらしい。農協の追出、税制面の規制と我々を取巻く環境はまだ当分は良くなりそうもない。
- ◎しかしながら此の業界の飯を喰つている以上、弱気ばかりを云つてはいられない。
- ◎一致団結協力して事に当らねばならないですね。
- ◎ともあれ年末迎えてあわてても仕方がないから、お互い来年こそはその意気に燃え新年を迎え様ではありませんか。
- ◎一年間の御協力を感謝します。又来年迄

(報道部 出口、染野)

府中稲城支部役員名簿

(昭和48年11月1日現在)

役 職 名	氏 名	店 名	住 所	T E L	
支 部 長	関 谷 鉄之助	平 和 不 動 産	稲城市坂浜3071	(77) 7142	
副 支 部 長 監 察 委 員 長 自 主 規 制 委 員 長	石 川 秀 一	丸 全	府中市宮町5-4	(61) 2365	
副 支 部 長 代 議 員	松 原 栄 一	一 栄 不 動 産	稲城市百村1072	(77) 7408	
専 務	加 藤 友三郎	紀乃国屋商事	府中市本町1-2	(62) 5351	
副 専 務	結 城 一 等	友 村 不 動 産	府中市宮西町1-3	(61) 3578	
総 務 部 長 代 議 員	榎 峠 優	守 屋 商 会	府中市宮町1-2	(62) 7325	
経 理 部 長	野 口 武	高 倉 不 動 産	府中市片町2-22-1	(61) 2945	
企 画 調 査 部 長	小 沢 重 吉	小 沢 土 地	稲城市矢野口393	(77) 7729	
法 務 部 長	大 島 二 郎	むさし宅地建物 指導調査事務所	稲城市長沼497	(77) 6660	
綱 紀 委 員 長	安 原 礼 孝	都 開 発	稲城市大丸86	(77) 4180 (73) 3553	
指 導 部 長 不 動 産 相 談 部 長	佐 藤 清 一	佐 藤 不 動 産	府中市四谷1-13-1	(61) 4236	
報 導 出 版 部 長	出 口 吉 美	大 邦 不 動 産	府中市府中町1-8893	(66) 2103 2104	
組 織 部 長	久 保 木 良 久	明 星 商 事	府中市蹟見町3-17	(64) 2965	
公 共 用 地 対 策 委 員 長	成 沢 辰 雄	成 吉 不 動 産	府中市片町2-21	(62) 7708	
土 地 対 策 特 別 委 員 長	室 次 郎	不 動 産 調 査 事 務 所	稲城市矢野口1898	(77) 4648	
福 祉 共 済 会 運 営 委 員 長	柴 野 忠 行	エ-ス観光開発	府中市白米台2-59	(61) 9617	
調 停 委 員 長	鈴 木 豊 治	鈴 豊	府中市住吉町5-15	(62) 6134	
監 事	厚 生 部 長	栗 山 新 助	栗 山 不 動 産 部	府中市宮町1-14	(61) 3410
	広 告 審 議 委 員 長	井 黒 幸 之 助	和 宏 不 動 産	府中市宮西町1-12	(62) 7607
相 談 役	本 部 参 与	山 村 馬 太 郎	ダイワ不 動 産	府中市清水ヶ丘3-24	(61) 4391
		朝 倉 静 男	朝 倉 商 事	府中市兩町4-11-1	(61) 6476

— メ モ —————



報道出版部長 出 口 吉 美
編集責任者 報 道 部 一 同